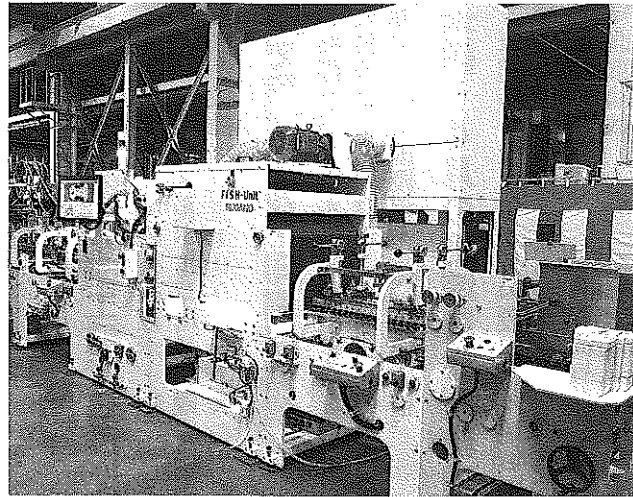


## 機械 日本紙工機械、インライン品質検査ユニット 新型「イーグルアイズ」、数社が導入検討へ

日本紙工機械グループ(本社工場・茨城県北相馬郡利根町早尾2-1、電話0297-61-7117)は、6月11日、16日までの7日間、サックマシン用の新製品「インライン品質検査ユニット「イーグルアイズ」」の見学会を開催、段メーカーや印刷紙器メーカーなど約25社、60名余が見学会に訪れた。見学会ではサックマシンGM650にインライン品質検査ユニット「イーグルアイズ」を連結して実演運転を行ったが、印刷紙器メーカー各社が実際に生産現場で使用するブランクシートを持参、毎分200mの高速運転により品質検査精度と搬送安定性を確認、有力印刷紙器メーカー数社が既存サックマシンへの連結を即座に検討するなど、新開発の次世代型インライン品質検査ユニット「イーグルアイズ」への関心の高さを伺わせた。

同社が開発したサックマシン専用インライン品質検査ユニット「イーグルアイズ」は、これまで蓄積したサックマシンの生産ノウハウを最大限に生かし、画像検査ユニットをインライン化してもブランクシートの受渡しで搬



インライン品質検査ユニット「イーグルアイズ」

送姿勢が安定、このためサックマシン本来の生産性を維持して高速運転できるのが最大の特長。搬送安定性を左右する3つのモジュール部品で構成された姿勢矯正装置はシンプル設計だが、確実に画像検査ユニットへブランクシートを搬送する能力を持つほか、検査ユニットのシート搬送部は吸着方式を採用しているため、振り返ったシートでも確実に搬送し誤検査防止にも威力を発揮する。一方、ブランクシート受渡部には小径ローラーを採用するなど、これまでサックマシンの生産で培ってきた様々なノウハウを随所に搭載、高速運転のシート受渡しでも搬送精度が格段に安定する。同社独自の不良排出システムを持つインライン検査装置は、ブランクシートを貼り合わせる前に品質検査を終了、瞬時に機外に排出するため、誤検知や紙粉の付着などで排出された良品ブランクシートを生産ラインに再び戻し、リトライ生産する事でロス率削減にも効果が期待できる。

既存のサックマシンに連結可能なインライン品質検査システム「イーグルアイズ」は、高速でもブランクシートの搬送安定性を維持し、サックマシン本来の性能を引き出すほか、メンテナンスを容易とするのも設計コンセプト。機械や制御部品を入手容易な部品で構成しているためメンテナンスも迅速に行え、生産阻害要因となる部品交換作業を時短化する仕様。サックマシンへの品質検査ユニット増設による操作手順の変更も不要で、操作性を阻害しないなどの特長を持つ。既に1号機を印刷紙器メーカーに納入済みで、オフラインの検査作業をインライン化、導入前の印刷プレス↓目視検査↓段取り↓製箱↓出荷までの6段階の煩雑な工程を、導入後に印刷↓プレス↓インライン検査製函↓出荷の4段階の工程に集約、省人化により大幅な生産性向上に貢献している。仕様は搬送速度20〜200m対応、最大処理数は仕様により変動、最大幅は450・650・850・1000サイズの4機種に対応する。

(裕)